

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 26 日現在

機関番号：32633

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2012～2014

課題番号：24390481

研究課題名(和文) 高度実践看護師の臨床判断力強化支援のためのウェブアシスト学習プログラム開発・評価

研究課題名(英文) Development and Evaluation of Web-based Educational Program Strengthening Reflective Clinical Judgement of Master Student in Advanced Practitioner Course

研究代表者

田代 順子 (TASHIRO, Junko)

聖路加国際大学・看護学部・教授

研究者番号：30134175

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は、高度な実践を担う看護師の“臨床判断力”を強化するWebによる学習支援プログラムを開発・評価することであった。研究活動は、初年度に上級実践コース院生の臨床演習・実習での学習ニーズ調査、米国の高度実戦力育成方法の調査、高度実践看護教育における臨床判断強化法の文献レビュー；続いて、Web学習支援システム導入のための調査、3年目に、Web学習支援プログラムを作成・開始し、本Webプログラムを活用した学生による評価調査を行った。結果、Web学習支援システムを活用した学生の評価は即時的対応の改善はあるが、臨床判断力強化への段階的指導を含む教育課程の教育内容・実習環境調整等の課題を提示した。

研究成果の概要(英文)：Aim of this study was to develop and evaluate a web-assisted educational program in order to strengthen clinical judgement ability of nurses seeking advanced practitioners. First, a learning need study of master students in advanced nurse practitioner courses, a hearing survey of advanced nurse practitioner courses in United States, and a systematic review on clinical judgement education were conducted. Selecting and developing an e-educational program, authors conducted an evaluation study. Findings of master students' evaluation of e-educational program, they reported that they received timely tutoring from tutors or faculty members, although they had difficulty to evaluate educational support to strengthening clinical judgement ability. This web-assisted educational program needs to develop further regarding monitoring and discussing process of clinical judgement and revise educational program to strengthen clinical judgement ability and establish learning facility and system.

研究分野：看護学 看護教育

キーワード：ウェブアシスト学習 高度実践看護師 臨床判断力 リフレクション メンターリング

1. 研究開始当初の背景

日本において、今日、小子高齢化の社会構造を背景に、医療の危機が叫ばれ、人々の安心・安全を保障する保健医療サービス提供のための、医師以外の医療専門職が参加するチーム医療の重要性が指摘されている。看護の高等教育化がこの20年間で急速に進み、看護専門職育成の体制は充実してきており、安心・安全な医療を保障する保健医療チームの一員として高度な実践を担う専門性の高い看護師(高度実践看護師)の育成プログラムは、多くの大学院で既に開始している。

諸外国において、すでに、Advanced Practice Nurse (APN) は、Nurse Practitioner (NP)をはじめとして、使用しているタイトルは異なるものの、米国、カナダ、英国、オーストラリア、台湾、香港、タイ国、韓国、スウェーデン等、それぞれの国の保健医療ニーズに合ったAPNの実践が始まっている。そのAPN活用の成果に関して、Advanced Practice Nurseの1990年から2008年までの69件の成果研究がシステマティックレビューされ、成果があった事が報告されている。

日本においては、平成23年から厚生労働省看護課は、「特定看護師(仮称)調査試行事業」の実施を開始した。しかしながら、臨床判断力の強化のための教育方法の研究は限られている。これまで、研究者らは、Webでのリフレクションログを取り入れた学修支援プログラムを開発してきた。しかしながら、教員との教育的関わりを記録すること、院生のキャリア開発に関する学修全般を支援できるプログラムには至っておらず、開発の余地がある。

2. 研究の目的

本研究の目的は、「高度な実践を担う専門性の高い看護師(高度実践看護師)」の“ケアとキュアの融合による臨床判断力”(Clinical Judgment)を強化するために、これまで開発してきたe-log(プラクティスログ)を、実習・演習・課題研究を進める院生の“リフレクション”ログと教員の“メンタリング”記録を加え、Webによる臨床判断強化サイクルを促進するプログラムを開発することである。加えて、プログラム開発の成果を“ケアとキュアの融合の実践”に関して評価することである。将来、リフレクティブ実践に基づくポートフォリオとして体系化し、院生の将来にわたるキャリア開発につながるプログラムを開発し、試用し、その過程を評価する。

3. 研究の方法

Web-アシスト学習支援プログラム開発のため、年次毎に段階的に年度および2年目に下記の研究を重ね、最終年度に試行した学習支援プログラムの評価研究を行った。

初年度(平成24年度):

(1) 高度実践看護師を目指す修士課程大学院生(高度実践看護大学院生)の臨地演習・実習での学習プロセスと学習ニーズの調査

研究対象者に研究協力の公募をし、承諾の得られた高度実践看護コースを専攻している学生へ臨地演習・実習のプロセス; 学習成果、効果的学習のための要望等についてインタビューガイドを使用して面接調査した。

(2) 高度実践看護師育成の先進国における高度実践力育成のための学習支援方法の調査

調査方法:米国におけるAdvanced practice nurse (APN)の教育において先進的に実施しているオレゴンヘルスサイエンス大学看護学研究科の調査協力を得、実地に、施設・設備見学、教員の聴取、APNの活動視察を行った。特に、臨床判断とその実践力強化のための学習支援の方法を視察により調査した。

さらに、イリノイ大学大学院、ラッシュ大学大学院、コロンビア大学大学院の調査をおこなった。

(3) 高度実践看護大学院生の学習ニーズおよび海外の高度実践看護師教育の情報を基に、高度実践看護師教育プログラムの概念整理

高度実践および高度実践教育に関する文献検討をシステマティックレビューを行い、教育効果に関する根拠と教育研究、および教育プログラムの中核概念を抽出し、記述した。

2年目(平成25年度):

(4) Web基盤の学習支援システムを導入選定のための調査

選定方法:初年度の調査結果から、省察的実践能力支援プログラム試案の開発可能なWeb-研究者と共に、欧米の省察的実践教育先進施設の助言を得ながら検討した。

3年目(平成26年):

(5) 臨床判断力強化支援プログラムの評価研究

評価方法:Webアシスト学習支援プログラムを活用した高度実践看護師をめざす修士課程の院生・認定看護師教育課程で受講している看護師のWeb学習プログラムmanabaで、履修した演習や実習での学習体験を面接調査し、学びのプロセスと学習上での学習ニーズ達成度を評価してもらい、Web学習プログラムでの実践での学びの上での問題点と改善点を分析した。また、この結果を2012年度のプログラム導入前の臨地実習の体験の記述と比較しプログラムの成果を、ケアとキュアの融合の臨床判断の視点から質的に評価した。

4. 研究成果

(1) 高度実践看護師を目指す修士課程大学院生(高度実践看護大学院生)の臨地演習・実習での学習プロセスと学習ニーズの調査

5名の在宅看護学、小児看護学の修士課程の高度実践看護師を目指す学生から、協力を得た。実習前に、実習で使用するフィジカルアセスメントを準備し、臨地・演習、実習に取り組んでいた。臨地では、高度実践をする看護師は限られ、医師の指導を受けながら、進めている報告が多く、看護師の臨床判断力の獲得に関し、確信が得にくく、教員とのコミュニケーションの必要性が大きいとの課題についての意見が多く報告された。Web上でのこまめな学習支援が効果的であることが抽出された。

臨地演習・実習場所では、自由にPCが使える状況になく、患者の個人情報にもかかわるため、患者のフィジカルアセスメント情報を安全に、指導者と教員に相談するかも課題として挙がった。

(2) 高度実践看護師育成の先進国における高度実践力育成のための学習支援方法の調査

オレゴン州立大学の大学院では、事例に基づく学習やシミュレーションなど、実践的な教育方法が多用されていることや、日本と比較して長期間の実習により臨床判断力を強化していることを聴取した。

イリノイ州の2大学、ニューヨーク州、コロンビア大学の上級実践教育を視察し、コース全体がe-learning、あるいはTVネットによる遠隔教育が進んでおり、Web上での学習支援システムで高度実践者教育がすすんでいる情報を得た。また、現在、全米でAPの教育は、Doctor of Nursing Practice (DNP)へ移行しているということで、管理、教育の科目が増やされているとのことであった。

さらに、臨床判断力育成の第1人者であるオレゴンヘルスサイエンスの、Dr.Tanner等を米国の研究者を招へいし、教育方法に関する講義、講演、そしてコンサルテーションにより、高度実践教育が臨床経験をもつ看護師への教育プログラムであることから、一人一人の学生への背景の考慮、およびそれぞれの臨床場面のプロセスとその達成レベルを明示したルーブリックの必要性と活用が必要であると助言を受けた。

(3) 高度実践看護学院生の学習ニーズおよび海外の高度実践看護師教育の情報を基に、高度実践看護師教育プログラムの概念整理
システムティックレビューを投稿した、

(4) Web 基盤の学習支援システムを導入選定のための調査

上記検討結果を参考に、本学のWeb基盤型学習支援システムの選定に携わった。日本において、導入可能なWeb基盤型学習支援システムのセミナー、コンペティションを開催し、情報を得た。Webアシストプログラムの経験が豊富でない教員・学生が活用できるプログラムという条件で選定した。結果、(株)朝日ネット社の「manaba」が導入されることとなった。

(5) 臨床判断力強化支援プログラムの評価研究

Webアシストの教育プログラムを活用した修士課程の高度実践を目指す学生と、認定看護師課程の学生から協力を得た。

その結果、Web学習プログラムにより学習者のニーズには対応しやすくなったと報告された。しかしながら、高度実践看護師養成においては、受講生の能力の個人差の大きいため、実習のメンターの重要性があるとの意見が報告された。現状では、メンター育成がいまだ不十分であり、Web学習プログラムの実習科目での活用も含め、今後更なる研究が必要であるという問題点が報告された。

結論：

高度実践看護師のリフレクティブ臨床判断力を強化するための臨地実習改善策の提示

上記研究の結果、高度実践看護師を目指す学習者のリフレクティブ臨床判断力を強化するためには、

第1に、臨地演習・実習での、学生の臨床判断過程で、それぞれリフレクションを促す仕組みの構築が必要である、

第2に、実習期間中に教員から適宜指導を受ける体制を強化することが必要であること

第3に、高度実践看護師養成に特化したメンターの育成の必要性がある

今後、Web学習支援プログラムを実習科目で活用し、各看護専門領域での臨床判断職のある高度実践看護師教育をするため、教育過程の評価を継続する必要があると示唆された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 1件)

田代順子、松谷美和子、緒方愛、上田貴子、島津多恵子、堀井聡子、(2015). 諸外国の看護の学部生・大学院生への臨床判断力強化学習支援法とその成果、聖路加国際大学紀要、1巻p. 20-28.

[学会発表](計 件)

[図書](計 件)

[産業財産権]

出願状況(計 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

取得状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

田代 順子 (TASHIRO, Junko)
聖路加国際大学 看護学部 教授
研究者番号：30134175

(2) 研究分担者

松谷美和子 (MATSUTANI, Miwako)
聖路加国際大学 看護学部 教授
研究者番号：60103587

中山和弘 (NAKAYAMA, Kazuhiro)
聖路加国際大学 看護学部 教授
研究者番号：5022170

(3) 連携研究者

山田雅子 (YAMADA, Masako)
聖路加国際大学 看護学部 教授
研究者番号：30459242

及川郁子 (OIKAWA, Ikuko)
聖路加国際大学 看護学部 教授
研究者番号：90185174

(4) 研究協力者

織方愛 (OGATA, Ai)
聖路加国際大学大学院
リサーチアシスタント